

令和7年度

第1回山梨県文学館協議会資料

令和7年10月30日（木）

山梨県立文学館

資料目次

【参考資料】

山梨県文学館協議会委員名簿	1
山梨県附属機関の設置に関する条例及び条例施行規則（抜粋）	2
組織図（文学館及び指定管理者）	6
山梨県立文学館の観覧者数の推移	8
観覧者数の目標と実績	10
文学館の利用者	11

【議事資料】

報告事項 文学館の事業について

・文学館学芸課、資料情報課関係	13
・指定管理者関係	29

文学館協議会委員名簿

任期: 令和7年9月29日～令和9年9月28日

氏名	役職	出身分野(勤務先等)	
こいしかわ まさふみ 小石川 正文	元名古屋女子大学文学部教授、 元富士河口湖高校長、元文学館学芸幹	学識経験	(教育)
ふしみ あや 伏見 彩	甲府青年会議所専務理事	社会教育	(地域振興・商業)
にしだ はるか 西田 遙	NPO法人河原部社理事長	社会教育	(地域振興・NPO)
やざき しげお 矢崎 茂男	山梨文芸協会会長	学識経験	(文芸)
やまもと くみこ 山本 久美子	山梨日日新聞社論説委員会部長	学識経験	(報道)
こまざわ かつあき 駒沢 克昭	テレビ山梨取締役 報道制作局担当	学識経験	(報道)
みしば ただひろ 三柴 忠宏	日本放送協会甲府放送局 コンテンツセンター長	学識経験	(報道)
はせがわ ちあき 長谷川 千秋	山梨大学教育学部長	学識経験	(大学教育)
ほりぐち みちよ 堀口 美千代	山梨中央銀行金融資料館館長	学識経験	(民間博物館)
なかだ みちひろ 仲田 道弘	やまなし観光推進機構理事長	学識経験	(地域振興・観光)
すどう れいこ 須藤 令子	山梨県書店商業組合 理事	学識経験	(地域振興・書店)(有)朗月堂書店
いじま せいき 飯島 清樹	県高等学校長協会代表	学校教育	甲府第一高等学校
やまだ しげゆき 山田 茂之	県公立小中学校長会代表	学校教育	新紺屋小学校
つるた くみこ 鶴田 久美子	公募(在家庭)	家庭教育	文学館協力会会員
たかやま みゆあ 高山 珠逢	公募(大学生)	家庭教育	

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第三百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

2～4 略

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

（会長等）

第五条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、執行機関の規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会等)

第七条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、部会又は小委員会を置くことができる。

(委任)

第九条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

別表第一(第二条、第四条関係)

一 知事の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県文学館協議会	博物館法第二十三条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以内	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年
山梨県立文学館専門委員会	山梨県立文学館における資料の収集、保存及び展示並びにその実施する事業に関する調査審議に関する事務	六人以内	一 学識経験のある者 二 優れた識見を有する者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠の委員の任期）

第二条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長等）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関（次に掲げる附属機関を除く。）に会長を、次に掲げる附属機関に委員長を置く。

一～十 略

※次に掲げる一～十の附属機関に文学館協議会は入っていないため、会長を置く。

2 条例第五条第一項の規定により副会長を置く附属機関及び当該附属機関に置かれる副会長の定数は、次の表のとおりとする。

※次の表に文学館協議会はないため、副会長は置かない。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県文学館協議会	<u>過半数</u>

（資料の提出等の要求）

第八条 附属機関は、その担任する事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長に対して、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

（意見の陳述）

第九条 関係行政機関の職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

(庶務)

第十二条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

(委任)

第十三条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮つて定める。

○博物館法（抜粋）

(博物館協議会)

第23条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第24条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあつては、当該地方公共団体の長)が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

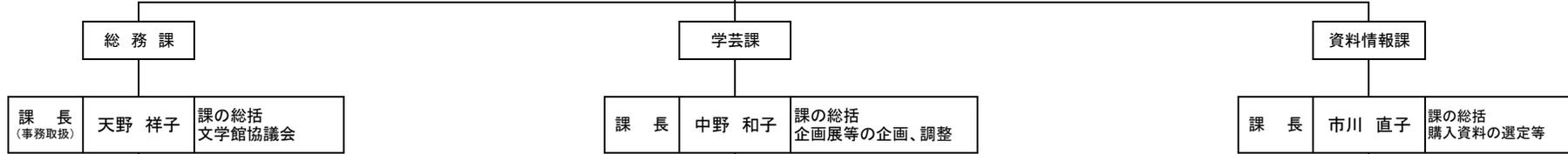
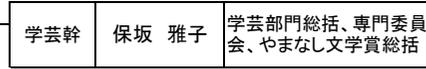
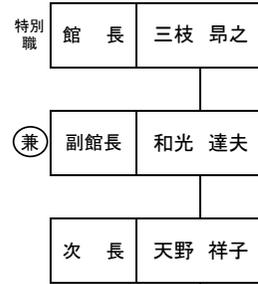
第25条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

文学館組織図

令和7年10月1日現在

所属名	県立文学館			
	短時間再任用	特別職非常勤職員	会計年度任用職員	合計
正規職員	1	1	8 (兼1)	20 (兼4)

※()は外数、協力会職員は数に含まず



学芸担当

職名	氏名	主たる業務
指導主幹	高室 有子	企画展・常設展の実施、やまなし文学賞
学芸員	伊藤 夏穂	特殊資料の整理公開、特設展・常設展の実施
会計年度任用職員	佐藤 明子	特殊資料の整理公開
会計年度任用職員	松井 あすか	業務補助
会計年度任用職員	成島 由季子	ボランティアの育成・指導等

教育普及担当

職名	氏名	主たる業務
副主幹リーダー	内藤 健	担当の総括 学校教育・生涯学習機関との連携・協力、教育普及事業
副主幹	遠藤 優綾	学校教育・生涯学習機関との連携協力、教育普及事業
会計年度任用職員	島内 知彦	教育普及事業事務補助

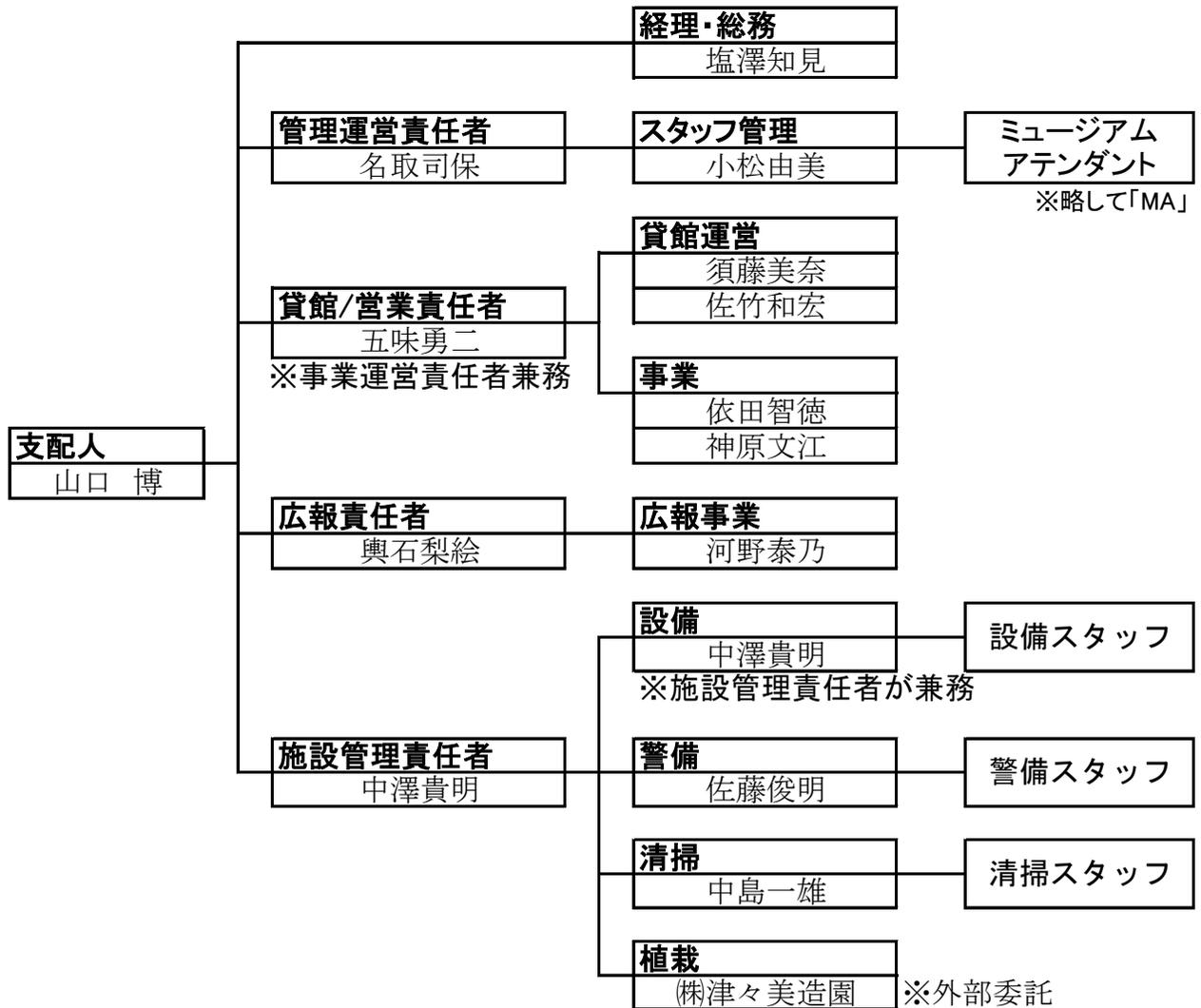
文学館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会職員	千國 ちふみ	協力会業務

職名	氏名	主たる業務
兼 副主幹リーダー	武田 強	担当の総括 予算管理
兼 主任	笠井 愛	会計・経理 旅費・物品
兼 会計年度任用職員	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会
会計年度任用職員	窪坂 修	業務補助

職名	氏名	主たる業務
副主幹リーダー	小林 幸代	担当の総括 閲覧室の企画・運営
主査	長谷部 友子	文献検索システムの管理、逐次刊行物の受入・管理
兼 専門員	水上 百合子	図書・視聴資料の整理・登録、レファレンス事例の公開
会計年度任用職員	内藤 るか	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度任用職員	加藤 崇	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度任用職員	有野 由莉香	資料等の整理 閲覧室カウンター業務

※副館長及び総務課職員は美術館本務で文学館と兼務
※次長は文学館本務で美術館と兼務



文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展	企画展	合計	特設展	新収蔵品展
H1	34	10,008	42,544	52,552	—	—
2	298	79,124	20,233	99,357	8,785	—
3	296	59,616	22,059	81,675	31,515	—
4	292	46,945	21,047	67,992	18,802	2,831
5	291	41,812	8,271	50,083	30,016	—
6	290	44,279	29,874	74,153	4,220	6,954
7	294	35,409	14,885	50,294	7,080	1,059
8	294	31,536	16,804	48,340	5,490	2,865
9	291	29,730	8,205	37,935	7,206	12,432
10	293	32,209	15,433	47,642	4,535	870
11	296	20,652	9,832	30,484	4,202	1,093
12	299	19,258	7,786	27,044	3,087	1,044
13	225	17,901	10,259	28,160	3,207	859
14	301	19,487	8,805	28,292	4,013	2,879
15	302	18,641	8,535	27,176	1,947	10,980
16	302	18,117	12,790	30,907	2,862	2,369
17	303	15,008	7,232	22,240	1,393	2,273
18	311	16,084	7,116	23,200	4,138	1,834
19	311	19,676	9,795	29,471	4,100	2,667
20	307	14,908	9,416	24,324	2,909	2,313
21	295	19,374	13,993	33,367	6,034	—
22	307	21,085	17,983	39,068	—	2,958
23	311	17,280	8,371	25,651	4,813	2,403
24	311	24,660	4,641	29,301	15,077	—
25	306	23,749	5,620	29,369	13,170	1,880
26	308	41,209	39,356	80,565	10,309	2,504
27	310	18,763	4,758	23,521	8,356	2,943
28	306	18,358	6,315	24,673	7,881	2,691
29	304	22,121	4,121	26,242	12,242	2,113
30	303	19,736	4,698	24,434	9,158	3,186
R1	274	22,538	11,466	34,004	10,488	1,163
R2	258	15,591	13,628	29,219	2,760	—
R3	273	13,548	5,599	19,147	3,714	1,979
R4	212	16,336	4,734	21,070	9,485	—
R5	279	21,300	20,704	42,004	7,569	2,950
R6	303	16,662	3,810	20,472	6,623	2,312
R7	159	9,716	1,158	10,874	6,145	
計	10,449	932,426	461,876	1,394,302	283,331	84,404

R4年12月1日～R5年4月30日空
調工事の為臨時休館

4月1日～4月30日臨時休館

9月末までの実績

令和7年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	27	1,227	45
5	27	1,774	66
6	25	1,725	69
7	27	1,343	50
8	28	2,018	72
9	25	1,629	65
10			
11			
12			
1			
2			
3			
計	159	9,716	61

令和6年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,148	44
5	27	1,364	51
6	26	1,471	57
7	26	1,781	69
8	28	2,745	98
9	25	1,408	56
10	27	1,379	51
11	26	2,342	90
12	23	410	18
1	20	601	30
2	23	983	43
3	26	1,030	40
計	303	16,662	55

9月 まで	158	9,917	63
----------	-----	-------	----

前年同期比 98.0%

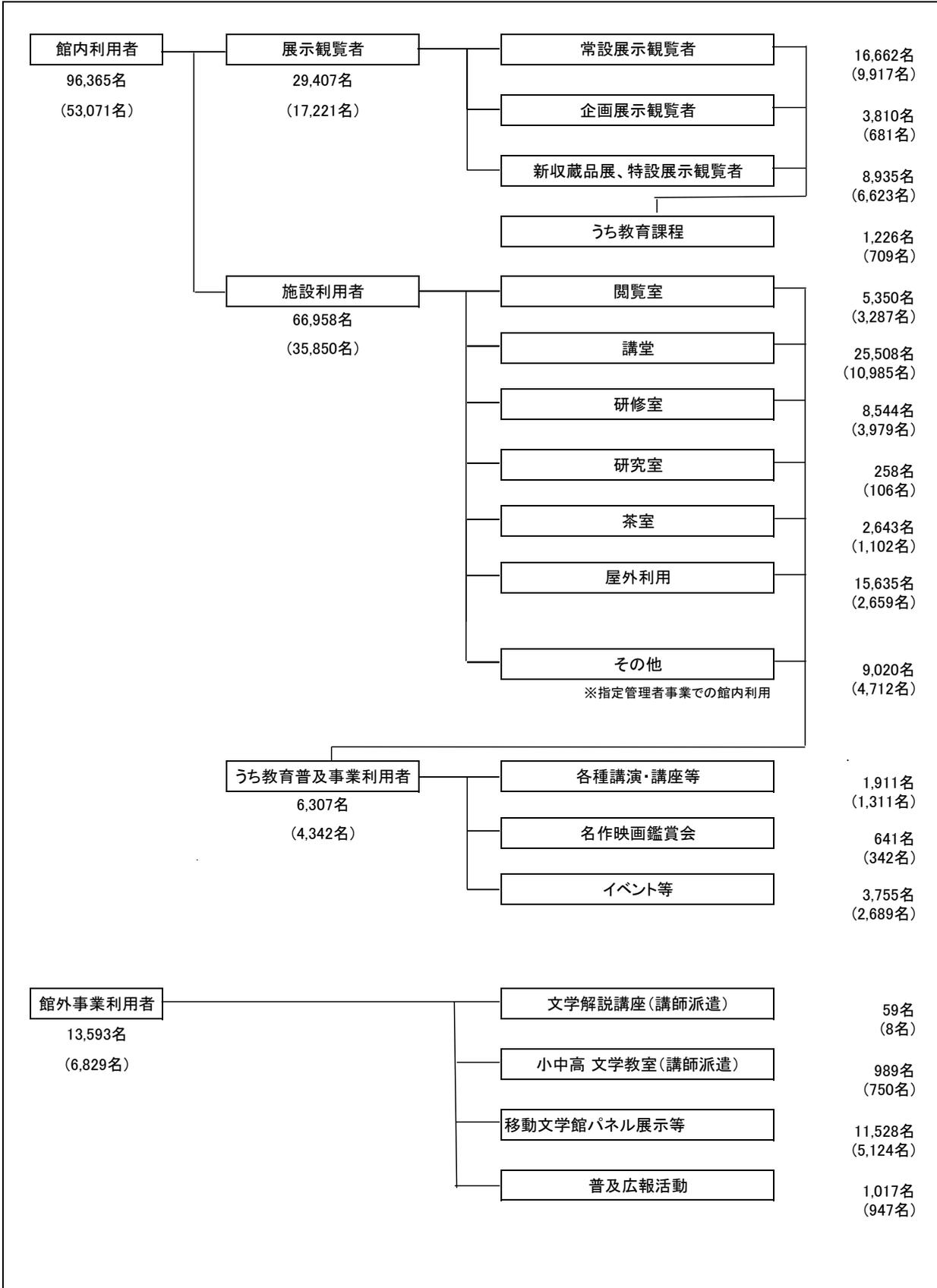
観覧者数の目標と実績

年度	展示種別・名称	目標	実績	達成率 %	
R7年度 (実績は 9月末)	常設展	18,900	9,716	51.4	
	企画展	ベストセラー誕生！「南総里見八犬伝」の世界	6,500	1,158	17.8 (開催中)
	特設展	時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年	3,700	3,449	93.2
		作家の絵どころ	3,800	2,696	70.9
	新収蔵品展	2,400	-	- (未開催)	
	合計	35,300	17,019	48.2	
R6年度	常設展	18,000	16,662	92.6	
	企画展	金子兜太展 しかし日暮れをいそがない (開館35周年記念)	6,400	3,810	59.5
	特設展	中村星湖展 生誕140年 歿後50年	3,500	2,758	78.8
		文学はおいしい	4,200	3,865	92.0
	新収蔵品展	1,800	2,312	128.4	
	合計	33,900	29,407	86.7	
R5年度	常設展	17,500	21,300	121.7	
	企画展	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ	13,541	20,704	152.9
	特設展	文豪の筆跡 館蔵の名品から	2,000	3,039	152.0
		それぞれの源氏物語	5,000	4,530	90.6
	新収蔵品展	1,959	2,950	150.6	
	合計	40,000	52,523	131.3	
R4年度	常設展	14,500	16,336	112.7	
	企画展	樋口一葉展 生誕150年	6,900	4,737	68.7
	特設展	芥川龍之介 生誕130年 旅の記憶展	4,000	5,287	132.2
		文学雑誌からZINE(ジン)へ	3,700	4,198	113.5
	新収蔵品展	-	-	- (開催なし)	
	合計	29,100	30,558	105.0	

●目標人数は、指定管理者の掲げる業務計画目標人数

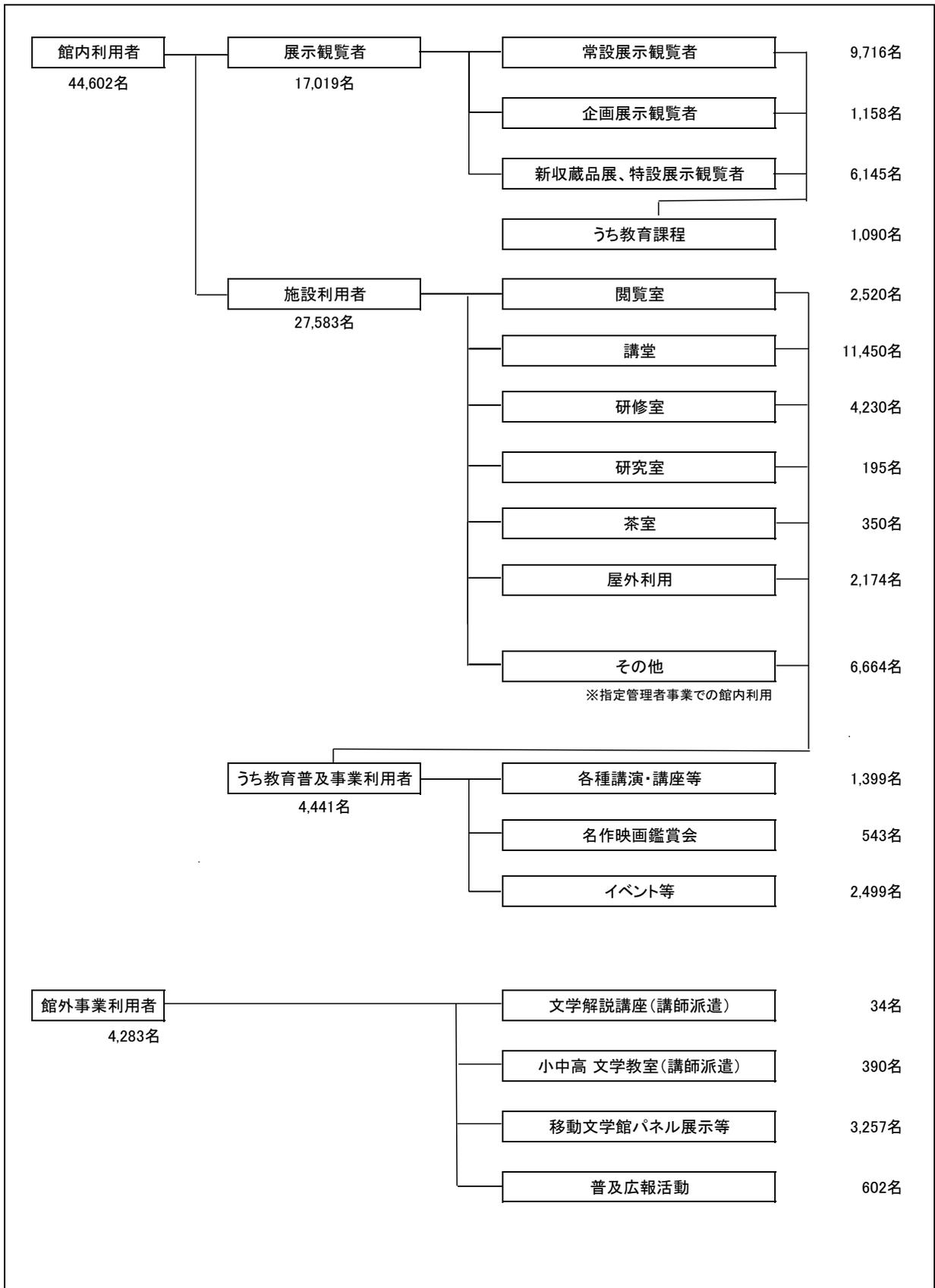
文学館における「利用者」の状況

令和6年度実績 ()内は令和6年9月末時点



文学館における「利用者」の状況

令和7年9月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館活動目標

山梨県総合計画（第二次）では「文化施設において各館の特色を生かした展示などが行われるとともに、関連分野との連携により、豊かで活力ある地域社会が実現」することを目指すべき将来像に掲げています。そのため、次のとおり活動目標を掲げます。

【展示／見る】

魅力あるテーマによる「企画展」「特設展」の開催と、収蔵品を生かして山梨県出身・ゆかりの文学者を紹介する「常設展」の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】

社会教育・学校教育と連携をはかり、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

【資料情報／収集・保存・公開】

山梨県出身・ゆかりの作家、作品に関わる資料を中心に収集・保存していくと同時に、広く公開して活用を図る。

【付加価値・魅力／たのしむ】

文学館及び芸術の森公園に、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行い、文化観光の拠点をめざす。

令和6年度の活動状況

【展示/見る】

春・夏の特設展、秋の企画展を「開館35周年記念」事業として開催

【特設展】 「生誕140年 歿後50年 中村星湖展」 会期：令和6年4月27日～6月23日

【特設展】 「文学はおいしい」 会期：令和6年7月13日～8月25日

【企画展】 「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」 会期：令和6年9月14日～11月24日

【新収蔵品展】 会期：令和7年2月1日～3月23日



企画展「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」

【展示/見る】

【常設展】

- ・年4回（3月、6月、8月、12月）一部入替え
- ・第1室に期間限定のコーナーを設置

春 深沢七郎 生誕110年
夏 虚子と富士北麓 高浜虚子生誕150年
秋 田中冬二 生誕130年
冬 山崎方代 生誕110年

・樋口一葉コーナー

県立美術館特別展「超絶技巧、未来へ！」関連展示として薩摩焼の絵付け職人だった樋口一葉の次兄虎之助の作品や、一葉が虎之助に取材した小説「うもれ木」の下書きなどを展示

会期：令和6年11月15日～令和7年2月2日



一葉の兄虎之助が絵付けをした花瓶

【教育普及/学ぶ】

【年間文学講座】

NHK大河ドラマ「光る君へ」にちなみ、講座1（古典文学）「藤原道長と紫式部のライバルたち—大河ドラマの世界を同時代の史料と文学作品から読む—」を年8回開催。

【企画展普及事業】



9月29日、「金子兜太さんのこと」三枝館長が聞き手となり、俳人金子兜太と親交があった歌人の佐佐木幸綱氏が兜太との思い出を語った。文学館講堂で開催。

【資料情報/収集・保存・公開】

デジタルアーカイブ開設 令和6年10月1日

文学館の収蔵コレクションの内、樋口一葉、芥川龍之介、太宰治の直筆資料（原稿・草稿・書簡など）を、鮮明な画像で当館ホームページ上で公開した。

作家名、資料種別、資料名で検索、閲覧が可能。

[デジタルアーカイブURL] <https://digital-archive.pref.yamanashi.jp/>



令和7年度の活動状況、および予定

【展示/見る】

【特設展】「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」会期：4月26日～6月22日



- ・ 辻邦生資料を所蔵する学習院大学史料館の全面的な協力により、2006年の企画展では、ほとんど展示されなかった直筆の原稿や手帳が多数展示された。

【展示/見る】

【特設展】「作家の絵ごころ」会期：7月12日～8月24日



本展で展示した夏目漱石画「鷺を追う少女」模写、橋口五葉が装幀した漱石の単行本に合わせて県立美術館で関連作品を展示

令和7年6月10日(火)～8月31日(日)

- ・ミレー 《鷺を追う少女》…コレクション展A (ミレー館)
- ・橋口五葉 《夏衣の女》…コレクション展B (テーマ展示室)

【企画展】

「ベストセラー誕生！『南総里見八犬伝』の世界」

会期：9月13日～11月24日 (開催中)

【展示/見る】



- ・曲亭馬琴が28年を費やして執筆した長篇小説「南総里見八犬伝」の世界を紹介。八犬士をはじめ、主な登場人物を二代目歌川国貞が描いた役者似顔の錦絵を多数展示。
- ・甲斐国を舞台にした場面や甲府で絵草紙を販売していた様子など、当時の資料により紹介。

【新収蔵品展】

会期：令和8年1月31日(土)～3月22日(日) (予定)

【展示/見る】

【常設展】

- ・ 3月、6月、8月、12月の4回、一部の資料入れ替えを実施。
第1室「期間限定公開」として次のテーマ展示を実施
春 飯田蛇笏 生誕140年
夏 戦後80年 文学者と疎開 井伏鱒二 太宰治
秋 戦後80年 文学者と疎開 金子光晴 〈開催中〉
冬 自由律の俳人・秋山秋紅蓼 〈予定〉

- ・ 夏と秋の常設展は、戦後80年をテーマとして、山梨に疎開した文学者を紹介。夏の常設展は、甲府に疎開し、ともに甲府空襲に遭った井伏鱒二と太宰治の資料を展示した。



【教育普及/学ぶ】

【年間文学講座】

- 講座 1 (古典文学) 源氏物語の男たち 年8回
- 講座 2 (近代文学) 私の出会った作家たち—創作の現場に立ち会う— 年8回
- 講座 3 作家と作品 学芸員による 年4回



【特設展、企画展関連事業】

- ・特設展「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」関連公演会
「琵琶と声明による 西行花伝 聲の帖」
- ・特設展「作家の絵ごころ」 絵手紙ワークショップ
- ・企画展「南総里見八犬伝の世界」

9月に消しゴムはんこワークショップ、担当学芸員の講座。

10月に高橋源一郎氏（小説家）、服部仁氏（企画展編集員）、鈴木俊幸氏（企画展編集委員）の講演会を開催。11月に講談教室を予定。



企画展「南総里見八犬伝の世界」にちなみ、犬の消しゴムはんこを作成



高橋源一郎講演会「長編小説家曲亭馬琴」

【教育普及/学ぶ】

【創作教室】

- ・短歌教室／小説創作教室

短歌教室は、高等学校文化連盟と共催、高校生参加枠を設け、一般社会人と一緒に受講する機会としている。小説創作教室では「甲斐人の一撃」事業として、25歳以下の参加枠で実施している。

【ZINE作り教室とZINEフェスティバル】

- ・創作と交流の場として令和3年度から実施
ワークショップ ……ZINEを制作

フェスティバル ……展示と配布の場

個人や団体のほかに、県内の学校へ参加を呼びかけた。

昨年の県立大、都留文科大、笛吹高校、駿台甲府高校生に加え、令和7年度は、英和大学、サンテクノカレッジ等、出品、参加が広がった。



【教育普及/学ぶ】

【文学解説】 展示の解説

前年度に県内学校宛に、年館の事業、提供できるプログラムの情報、利用の仕方などをお知らせする。



クイズを解きながら、山梨の文学者について学ぶ。



【教育普及/学ぶ】

【出前授業】【アウトリーチ(移動文学館)】

職員による出前講座を随時実施。

この他、名作映画鑑賞会、朗読公演会、教師のための学習会、ジュニアインターンシップ等を実施。

今後、企画展「南総里見八犬伝の世界」関連講演会・講談教室、朗読教室を予定。



出前授業の様子



特設展関連事業として行った琵琶と声明による朗読公演会

【資料情報/収集・保存・公開】

閲覧室における事業として

収蔵資料の閲覧、情報の提供、レファレンスサービス、複写サービスを実施。

資料の情報は、文献検索システムにより管理し、文学館HPの「蔵書検索」ページで公開。

このほか、収蔵する図書・雑誌を手にとって閲覧出来る展示コーナーを随時設営。

閲覧室の事業を紹介する、閲覧室トークを実施。

【資料情報/収集・保存・公開】



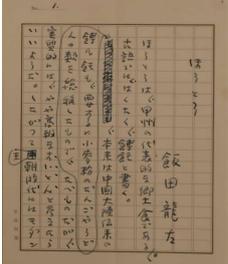
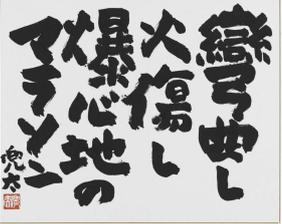
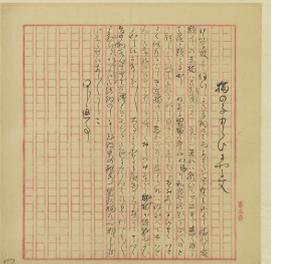
閲覧室資料紹介



閲覧室トーク

展示事業

2024（令和6）年度

<p>開館35周年記念特設展 生誕140年 歿後50年 中村星湖展</p>	<p>開館35周年記念特設展 文学はおいしい</p>	<p>開館35周年記念企画展 金子兜太展 しかし日暮れを 急がない</p>	<p>新収蔵品展 直筆を楽しむ</p>
<p>自主企画 常設展の一環として開催</p>	<p>自主企画 常設展の一環として開催</p>	<p>自主企画</p>	<p>自主企画 観覧無料</p>
<p>R6年4月27日（土） ～ 6月23日（日）</p>	<p>R6年7月13日（土） ～ 8月25日（日）</p>	<p>R6年9月14日（土） ～ 11月24日（日）</p>	<p>R7年2月1日（土） ～ 3月23日（日）</p>
<p>51日間</p>	<p>39日間</p>	<p>62日間</p>	<p>43日間</p>
<p>2,758名</p>	<p>3,865名</p>	<p>3,810名</p>	<p>2,312名</p>
<p>明治40年代、自然主義文学の隆盛期に小説「少年行」で文壇に登場した中村星湖（富士河口湖町生まれ）の生涯と作品を取り上げた。小説のほか、フローベル、モーパッサンの翻訳、民衆芸術、農民文学運動に関わる評論活動など、多彩な業績を紹介した。</p>	<p>文学作品に登場する食の場面、作家と食べ物のエピソードを葡萄のめぐみ／甲州のうまいもの／お酒のシーン／料理する作家たちなどの切り口で、芥川龍之介や深沢七郎、林真理子の資料を中心に紹介した。県内各市町村の食に関わるパンフレットのコーナーを設けた。</p>	<p>金子兜太（1919～2018 埼玉県生まれ）は、従軍体験を経て、前衛俳句、社会性俳句の中心的存在として活躍した戦後を代表する俳人。自作を揮毫した力強い書の掛け軸や色紙、日記などのほか、書斎の一部を再現し生涯と作品の魅力を紹介した。</p>	<p>令和5年度から令和6年度にかけて、新たに収蔵した資料から展示した。樋口一葉『通俗書簡文』未定稿（「猫の子もらひにやる文」）軸装、高浜虚子「大空に又わき出でし小鳥哉」軸装、土屋文明筆 正岡子規歌「やまめ三尾は甲州の一五坊より」額装など</p>
			
<p>中村星湖「少年行」原稿 「早稲田文学」第18号掲載 1907（明治40）年5月</p>	<p>飯田龍太「ほうとう」原稿 家ごとに味に特徴があること、作った翌日の味わい方などを語る</p>	<p>金子兜太「彎曲し火傷し爆心地のマラソン」色紙 1958年から1960年まで長崎に赴任中の作</p>	<p>樋口一葉「猫の子もらひにやる文」草稿 生前唯一の単行本『通俗書簡文』収録。最晩年の筆跡</p>

展示事業

2025（令和7）年度

<p>特設展 時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年</p>	<p>特設展 作家の絵ごころ 視覚で楽しむ文学展</p>	<p>企画展 ベストセラー誕生！ 「南総里見八犬伝」 の世界</p>	<p>新収蔵品展</p>
<p>自主企画 常設展の一環として開催</p>	<p>自主企画 常設展の一環として開催</p>	<p>自主企画</p>	<p>自主企画 観覧無料</p>
<p>R7年4月26日（土） ～ 6月22日（日）</p>	<p>R7年7月12日（土） ～ 8月24日（日）</p>	<p>R7年9月13日（土） ～ 11月24日（月・振休）</p>	<p>R8年1月31日（土） ～ 3月22日（日）</p>
<p>51日間</p>	<p>39日間</p>	<p>63日間</p>	<p>43日間</p>
<p>3,449名</p>	<p>2,696名</p>	<p>開催中</p>	<p>開催予定</p>
<p>作家・辻邦生（1925～1999）の生涯と代表作を紹介した。辻邦生資料を所蔵する学習院大学史料館の全面的な協力により、原稿、創作ノート、書簡などの直筆資料、愛用品などを展示。生誕100年のメモリアルイヤーにあわせて、ゆかりのある各地で行われる展覧会と連携を図った。</p>	<p>作家の中には、自ら好んで絵を描いたり、著書の装幀に自身の美意識を反映させるなど、美術に深く心を寄せる人がいた。夏目漱石、芥川龍之介など作家の描いた絵や、本や雑誌の装幀・挿絵の原画、作家と画家の交流を表す書簡など、文学と美術の豊かなコラボレーションの世界を紹介した。</p>	<p>江戸時代後期、曲亭馬琴が執筆した「南総里見八犬伝」は、全106冊に及ぶ長編小説で、時代を超えて多くの読者を獲得しベストセラーとなった。明治以降も多くの作家を刺激し、コミックや映画などにも登場した。現在も人々を魅了し続ける「八犬伝」の魅力を紹介した。</p>	<p>令和6年度から令和7年度にかけて、新たに収蔵した資料を公開する。</p>
			
<p>辻邦生「銀杏散りやま ず」第1回原稿 学習院大学史料館蔵</p>	<p>芥川龍之介 風景画 1909（明治42）年 当館蔵</p>	<p>曲亭馬琴作『南総里見八 犬伝』全98巻106冊 文化11年（1814）～天保 13年（1842） 館山市立博物館蔵</p>	<p>芥川龍之介 「お律と子等」草稿 寄託資料</p>

令和7年度 教育普及事業の実施状況と今後の予定(9月末現在)

分類	事業名	内容	開催日等	会場	参加人数	合計
年間文学講座	講座1 源氏物語の男たち 講師：池田 尚隆 (山梨大学名誉教授)	①桐壺帝	5月10日(土)	講堂	77人	386人
		②左大臣・右大臣	6月21日(土)		81人	
		③按察大納言・明石の入道	7月12日(土)		81人	
		④頭中将	8月23日(土)		74人	
		⑤朱雀院	9月20日(土)		73人	
		⑥冷泉院	10月11日(土)			
		⑦光源氏その一	11月22日(土)			
		⑧光源氏その二	12月6日(土)			
	講座2 私の出会った作家たち —創作の現場に立ち会 う— 講師：前田 速夫 (文芸雑誌「新潮」元 編集長)	①辻邦生と北杜夫 作家の友情 —旧制高校生の教養	5月29日(木)	研修室 ・講堂	79人	310人
		②瀬戸内寂聴と田辺聖子 人気作家の条件—読者を大切にする	6月19日(木)		59人	
		③川端康成と三島由紀夫 往復書簡から—自死に至るまで	7月24日(木)		76人	
		④大岡昇平と武田泰淳 富士山麓の二人—大家の晩年	8月28日(木)		41人	
		⑤島尾敏雄と島尾ミホ 『死の棘日記』をめぐる —夫婦の壮絶な死闘	9月25日(木)		55人	
		⑥吉田知子と村田喜代子 異世界への扉—地方作家の底力	10月16日(木)			
		⑦車谷長吉と平野啓一郎 作家デビューまで —無名の新人の 担当編集者として並走して	11月6日(木)			
		⑧津島佑子と小川洋子 世界に通じる普遍性 —国内外で高まる評価	12月18日(木)			
	講座3 講師：当館学芸員	①辻邦生作品の魅力 —「銀杏散りやまず」、 「西行花伝」を中心に 講師：中野和子	5月18日(日)	研修室	77人	179人
		②戦後80年 甲運村に疎開した井伏鱒二 講師：保坂雅子	6月22日(日)		30人	
		③特設展「作家の絵ごころ」 展示資料の見どころ 講師：伊藤夏穂	7月27日(日)		29人	
		④「南総里見八犬伝」 展示の見どころ 講師：高室有子	9月14日(日)		43人	

分類	事業名	内容	開催日等	会場	参加人数	合計
文学解説	展示解説 (一般向け)	韮崎大草公民館	1回	常設展 特設展 企画展	21人	1,111人
	展示解説 (小中高大学生向け)	学生への展示解説	20回		1,090人	
チャレンジクイズ	特設展	「辻邦生展」	4月26日- 6月22日	特設展	704人	2,196人
		「作家の絵ごころ展」	7月12日- 8月24日	特設展	209人	
	企画展	「南総里見八犬伝の世界展」	9月13日- 11月24日	企画展	102人	
	チャレンジ文学館 (わたしはだあれ?)	小中高一般	通年	常設展	974人	
	文学の柱クイズ	小中高一般	通年	芸術の 森公園	207人	
実習受入	ジュニアインターンシップ プ・インターンシップ	中高生10人、大学生3人	7月(3日間) 8月(1日間)		13人	37人
	博物館実習	学芸員資格取得単位の実習 (4人×6日)	7月17日- 23日		24人	
その他	アウトリーチ (移動文学館)	小中高 16校	通年		3,257人	4,124人
	ZINEフェスティバル	各種ZINEの展示、交流会	7月20日(日)	研修室	256人	
	博学連携広報活動	校長会・国語部会での普及事業説明など	通年		591人	
	やまなし文学賞関係	運営委員会	5月9日(金)	研修室	9人	
	教育センター共催研修	閲覧室・展示室見学	7月23日(水)	研修室	11人	

令和7年度 閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

	タイトル	展示期間	備考
1	辻邦生を読む	令和7年4月25日(金)～6月22日(日)	特設展「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」関連
2	装幀を楽しむ	令和7年7月11日(金)～8月24日(日)	特設展「作家の絵ごころ」関連
3	どうぶつとぶんがく	令和7年9月12日(金)～11月24日(月・振休)	企画展「『南総里見八犬伝』の 世界」関連
4	没後50年 檀一雄の世界	令和8年1月2日(金)～3月22日(日)	

◆ 昭和100年記念資料紹介

	展示名	展示期間	備考
1	戦後80年 戦争と文学	令和7年8月27日(水)～9月10日(水)	
2	芥川賞・直木賞でふりかえる 昭和の文学	令和7年11月27日(木)～12月25日(木)	
3	雑誌に見る昭和の文学	令和8年3月25日(水)～4月22日(水)	

◆ その他の資料紹介

	タイトル	展示期間	備考
1	七夕と星の展示	令和7年6月25日(水)～7月9日(水)	
2	井伏鱒二・太宰治と戦争	令和7年8月6日(水)～15日(金)	ミニ資料紹介・戦後80年
3	県人著作コーナー	通年(4期に分けて入替え)	

◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介。

令和7年度は、5月4日(日・祝)、7月13日(日)、8月10日(日)、11月20日(木・県民の日)に実施。

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

(R7.9.30現在)

単位:件

	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数
令和5年度	281	19,992	54	255	961	782	2,038	159	815	731
令和6年度	303	5,350	56	264	781	518	1,884	20	782	560
令和7年度	159	2,520	30	141	1,036	192	1,022	10	502	367

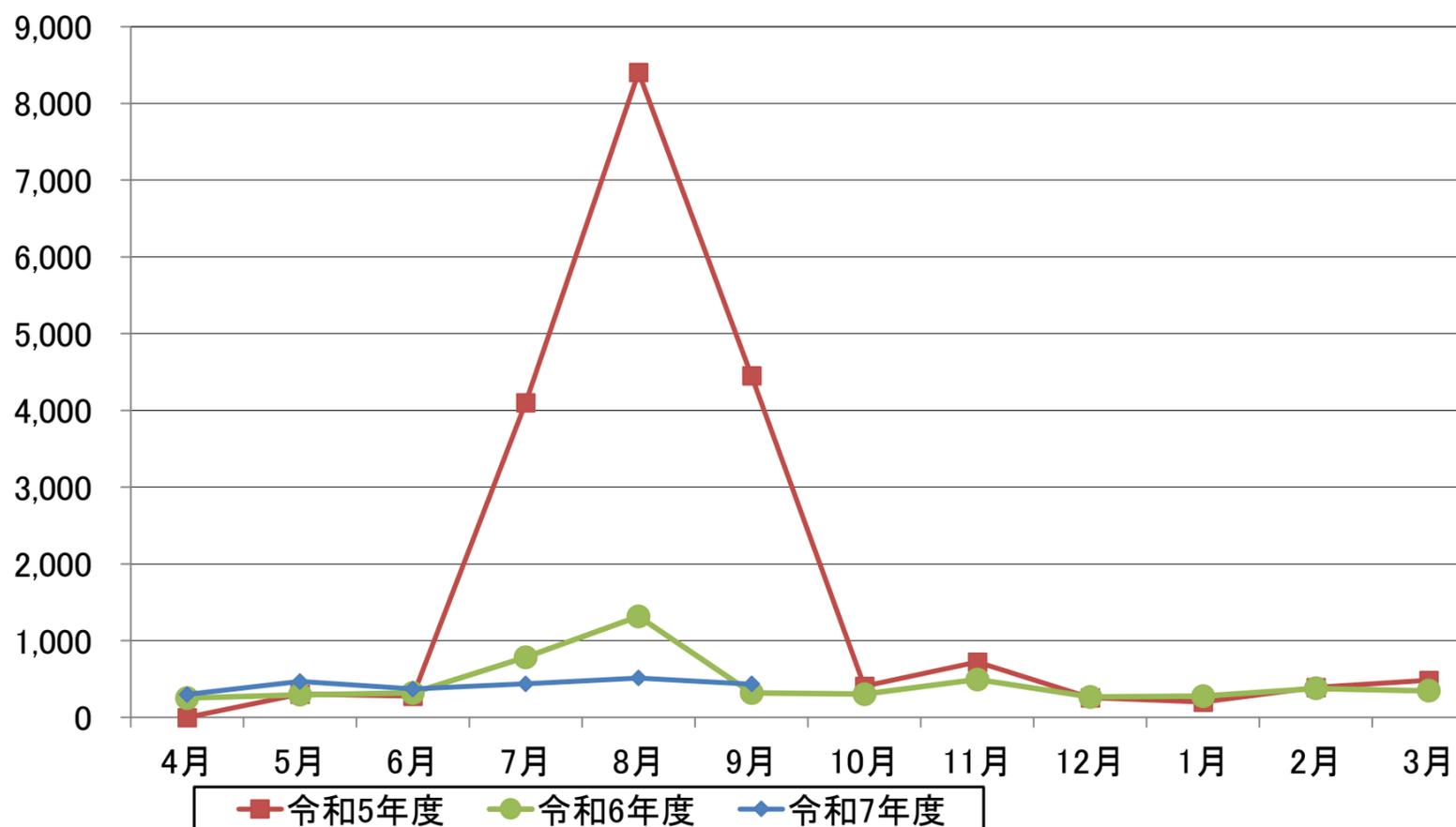
閲覧室入室者(月別)

(R7.9.30現在)

単位:件

b	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
令和5年度	0	302	277	4,101	8,404	4,453	407	721	255	198	389	485	19,992	71
令和6年度	253	295	319	784	1,316	320	302	492	266	278	378	347	5,350	18
令和7年度	299	468	368	438	512	435							2,520	16

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

(R7.9.30現在)

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	日平均件数
令和5年度	29	73	66	69	103	74	59	114	47	56	41	51	782	3
令和6年度	38	54	45	46	52	39	37	37	44	30	57	39	518	3
令和7年度	39	35	36	24	44	14							192	3

複写枚数(電子式・マイク口)(月別)

単位:枚 R7.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	日平均枚数
令和5年度	3	153	378	38	221	161	316	333	213	193	107	81	2,197	8
令和6年度	13	357	162	81	160	263	124	11	161	176	277	119	1,904	6
令和7年度	16	53	142	226	381	214							1,032	6

令和7年度 上半期

山梨県立文学館 協議会

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園
指定管理者 芸術の森みらいデザイン

令和7年10月30日(木)

◆目次

1. 令和6年度の指定管理事業
広報活動／集客のための事業／安全・安心な施設の維持管理
2. 令和7年度の指定管理事業
広報活動／集客のための事業／安全・安心な施設の維持管理／サービス向上

1-1. 広報活動－観覧者数(R6下半期／年間)

令和6年度 文学館 観覧者数

	常設展観覧者数			特設展・企画展観覧者数		
	R6年度実績			R6年度実績		
	R6年度実績	R6年度目標	目標比	R6年度実績	月別目標	月別目標比
年間合計	16,662	18,000	93%	12,745	15,900	80%

目標数は、文学館は総合計画を踏まえた数字。

展覧会別

展覧会名	R6年度実績	特設・企画展観覧者目標	対目標比
中村星湖展	2,758	3,500	79%
文学はおいしい	3,865	4,200	92%
金子兜太	3,810	6,400	60%
新収蔵品展	2,312	1,800	128%
合計	12,745	15,900	80%

◆新収蔵品展 直筆を楽しむ

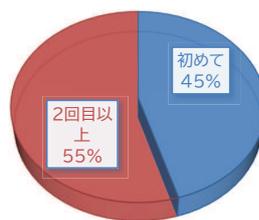
・“観覧無料”のため、文学館の来館経験がない方にもアピールできるよう、誰でもわかりやすいデザインを意識したチラシを制作

→アンケート結果:約45%の方が初めて来館と回答

・チラシをきっかけに来館した方が最も多く、「『直筆を楽しむ』というキャッチコピーに惹かれて立ち寄りました」(東京都・30代女性)という声も。

チラシのデザインやキャッチコピーが、集客に大きな影響を与えることを再認識。

文学館来館回数



1-2. 広報活動－芸術の森公園の広報

◆実施内容

・案内用ポスターを作成。県内公共施設や観光施設、ホテル、旅館などの宿泊施設へ送付し、「芸術の森公園」の広報を強化する

◆目的

・自然豊かな環境で芸術文化に触れることができる芸術の森公園の認知度向上及び新規利用者の獲得
 ・芸術の森公園と文学館、美術館の多様な魅力発信による一体的な広報効果

◆成果

・特に宿泊施設から高評価
 →「案内しやすい」「もう1枚ほしい」との反響あり

・甲府市観光案内所では目立つ場所に掲示

→芸術の森公園をフックとした広報の手ごたえあり
 文学館と美術館を含めた芸術の森公園全体を、多目的に人々が集い、くつろぎ、繋がる場として、今後も広報を強化していきたい



甲府市観光案内所



「芸術の森公園」ポスター

1-3. 集客のための事業－雛飾り&布飾り（2月11日～3月23日）

◆目的

- ・文学館を華やかに彩ることで、普段来館機会がない方が気軽に訪れるきっかけをつくる
- ・新収蔵品展への集客につなげる

◆成果

- ・雛飾りの観覧者1,588人の約65%が新収蔵品展も観覧

初の取組みとして
エントランスに
ひな壇を設置。



1-4. 安全・安心な施設の維持管理－合同避難訓練（2月25日）

◆目的

- ・全職員の防災意識を高め、有事に適切な行動が取れるようにする

◆成果

- ・“学芸課主催のイベント開催中”という具体的な設定を設けたことで、多くの職員が避難誘導に関わり、より実践に近い形で訓練することができた
- ・甲府市消防本部貢川出張所から消防隊員に出張いただき、119番通報の訓練や消火器を使った消火訓練も実施
- ・消防隊員から防災に関するアドバイスもいただくことができ、防災に対する意識やスキルの強化につながった



2. 令和7年度の指定管理事業

本年度の利用促進活動項目

- 様々な魅力を発信し、文化・芸術に触れる機会を創出します

本年度は、施設の新たな魅力発信を通し、文化・芸術に触れる機会を創出することで、県内外からの新たな来館者の獲得を目指します。利便性を向上させ、満足度の高い施設を作ること、美術館、文学館のファンづくりに取り組みます。

1. パブリックスペースのさらなる魅力発信

2. 潜在顧客の獲得に向けた広報

3. 県内市町村や地域との連携強化

4. アンケートやデジタルを活用した利便性やサービスの向上

2-1. 広報活動－観覧者数(R7年度上半期)

令和7年度 文学館 観覧者数 月別比

	常設展観覧者数			特設展・企画展観覧者数		
	R7年度実績	R7年度目標	目標比	R7年度実績	月別目標	月別目標比
4-9月合計	9,716	11,400	85%	7,303	8,840	83%

目標数は、文学館は総合計画を踏まえた数字。

展覧会別

展覧会名	R7年度実績	特設・企画展観覧者目標	対目標比
辻邦生展	3,449	3,700	93%
作家の絵ごころ	2,696	3,800	71%
南総里見八犬伝の世界 ※開催中、9月までの実績	1,158	6,500	18%
新収藏品展			
合計	7,303	14,000	52%

◆新規顧客の集客を狙った広報施策の実施



チラシデザインの工夫

「辻邦生展」
“旅”をテーマにしたデザイン

「作家の絵ごころ」展
“絵”がテーマであるため、美術ファンにもアピールするよう、パレットをイメージしたデザイン

「南総里見八犬伝の世界」展
見た人の目にとまるよう、遠くからでも映えるインパクト重視のデザイン

潜在顧客
獲得

2-1. 広報活動－観覧者数(R7年度上半期)

SNSによる広報

展覧会の内容をイメージしやすくするため、画像だけでなく、展示室の様子を映した動画を投稿。



誘客のためのワークショップの実施

「作家の絵ごころ」展関連ワークショップ 「ペーパーバグづくり」

2日間満席で大盛況。
展示室の観覧にもつながった。
参加者合計:83名



◆成果

潜在顧客
獲得



「辻邦生展」

- ・初の来館者が51%!
- ・辻邦生ファンへのアピールにつながった一方で、県外の方からは「広く告知してほしい」との意見も。県外への情報発信を今後の課題と捉え、アプローチ方法を検討中。



「作家の絵ごころ」展

- ・20～50代の観覧者が62%!
(R6年度の年間実績は50%)
- ・若年層を中心に、幅広い世代の方が文学館を訪れるきっかけをつくることのできた。

2-2. 広報活動－東海エリアへの広報活動、旅行商談会(名古屋)への参加

◆目的

中部横断道の全線開通により、東海エリアからのアクセスの利便性が向上。
静岡および三大都市圏である名古屋方面からの集客増を目指す。

◆成果

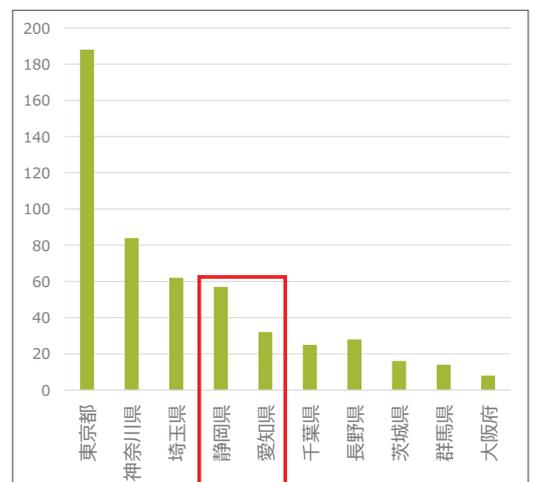
- ・修学旅行の受け入れ先として手応えあり。
次につながる商談ができた
- ・商談先:5社9部署 (JTB、日本旅行など)



旅行商談会の様子
(9月10日)

潜在顧客
獲得

令和6年度文学館アンケートより
県外来館者の都道府県Top10



2-3. 集客のための事業 – 地域連携（こいのぼり・七夕展示）

地域
連携

◆イベント概要

- ・「甲州こいのぼり」展示(山梨県指定郷土伝統工芸品)(4月15日～6月8日)
- ・「壁紙アートこいのぼり」展示（4月29日～6月8日）
制作協力:くがわしんとく幼稚園、貢川幼稚園、甲府あら川こども園、甲府西幼稚園
- ・「七夕飾り」
- ・「壁紙アート天の川」展示(6月24日～8月3日)
制作協力:くがわしんとく幼稚園、甲府西幼稚園、和成こども園



◆目的

- ・展覧会広報と来館のきっかけづくりや館への関心度を高める機会の創出
- ・地域との連携強化

◆成果

- ・近隣の幼稚園やこども園との連携で、園児による「こいのぼり」「天の川」の制作、展示を行う。園児や家族の来場機会を創出することができた。
- ・「甲州こいのぼり」は、井上染物店(南アルプス市)に協力いただき、地域の伝統工芸に気軽に触れる機会にできた。
- ・テレビや新聞の取材につながり、文学館の活動を広く周知できた。

2-4. 集客のための事業 – 出張！ 県立美術館・文学館（8月3日、10月5日）

◆イベント概要

芥川龍之介作の「河童」や、ミレー作品をモチーフにしたオリジナルのサコッシュやペーパーバッグ、缶バッジづくりを行うワークショップ

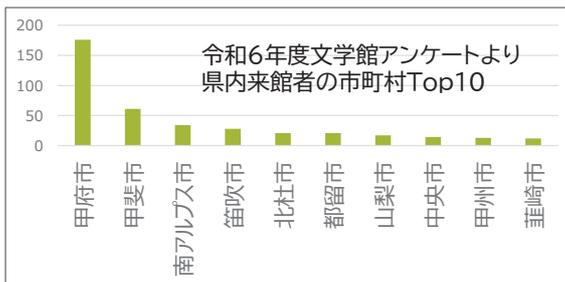
- ・8月3日(日) ラザウォーク甲斐双葉店(甲斐市)
- ・10月5日(日) 富士河口湖まちフェス(富士河口湖町)

◆目的

- ・県内在住者を対象とした展覧会広報や来館のきっかけづくり
- ・館への関心度を高める機会の創出
- ・来館頻度の低い市町村からの利用促進。

◆成果

- 8月3日(日) ラザウォーク甲斐双葉店 534人参加**
- ・新聞掲載やテレビ取材あり。メディアを通して施設をアピール
- ・クライアントの満足度も高く、関係性も深化。
- 10月5日(日) 富士河口湖まちフェス 初出店！464人参加**
- ・地域住民の方とコミュニケーションをとりながら文学館・美術館の存在をアピールできた。
- ・多くの方が展覧会に興味を持ち、文学や美術への関心の高さが伺える。今後の来館が期待できる感触を実感。



河口湖まちフェスの様子

地域
連携

2-5. 集客のための事業－自主事業（落語ぶんがく亭）

◆目的

- ・落語をととして文化芸術に親しんでいただく機会とする
- ・文学館や芸術の森公園への来場機会を創出し、認知度の向上を図る
- ・1公演増設し(3公演⇒4公演)、新規顧客の獲得を目指す



◆成果

- ・初開催の柳亭小痴楽独演会は、初参加者が約6割と、新規顧客獲得につながった
- ・小痴楽ファンのイベント認知度の向上も券売好調の要因の一つと考えられる
- ・セット券のなかでは4公演セットが好調。早い時期からCMやSNS、館内のサイネージ等で落語ファン以外にも発信。
- ・特に喬太郎独演会は、昨年を大きく上回る販売数を達成できた。



2025(R7)年

日程	出演者	販売数	R6販売数	昨年比
4月24日	桃月庵白酒	259	253	102%
6月29日	柳亭小痴楽	432		
9月17日	柳家喬太郎	490	317	155%
2月4日	春風亭一之輔	490	480	104%

完売！
完売！

2-6. 安全・安心な施設の維持管理／サービス向上

展示室に消火用タンク設置(9月)

◆目的

主に展示室内における、火災時発生時の人と作品の安全と安心確保のため

◆期待される効果

- ・水を使つての消火となるため、作品への影響を最小限にとどめることができる
- ・近年多発するモバイルバッテリー出火事故等にも即座に対応可能。

・有事の際、スムーズに対応できるよう、スタッフ研修で使用方法を確認。



貸館申請書のダウンロード運用開始(4月)

◆目的

貸館申請の利便性向上



◆成果

- ・受付時間の短縮につながることで、利用者の利便性はもちろん、業務効率化にもつながっている

